

令和元年度

決 算 財 務 諸 表

貸借対照表

令和2年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	摘要
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	988,414,914	1,256,468,717	△ 268,053,803	前年度は基幹システムの支払額を一時的に現金保有主に行政や代行機関の未収分(焦げ付きなし)次年度に向けた検診材料の保有(主に大腸容器)山形大学統計学講座への入学金(1名)
未収金	178,795,974	299,291,211	△ 120,495,237	
貯蔵品	16,328,668	13,907,695	2,420,973	
前払金	84,600	0	84,600	
流動資産合計	1,183,624,156	1,569,667,623	△ 386,043,467	
2. 固定資産				
(1 基本財産)				
土地	571,031,837	571,031,837	0	
有価証券	398,600,000	398,600,000	0	
定期預金	293,964	293,964	0	
基本財産合計	969,925,801	969,925,801	0	
(2 特定資産)				
建物	2,146,644,373	2,146,644,373	0	
建物減価償却累計額	△ 1,510,331,878	△ 1,473,604,289	△ 36,727,589	
車両運搬具	3,661,379	32,111,379	△ 28,450,000	呼吸器検診車処分(廃車)に伴うもの
車両運搬具減価償却累計額	△ 3,661,378	△ 32,111,377	28,449,999	"
器具備品	19,200,000	19,200,000	0	
器具備品減価償却累計額	△ 19,199,999	△ 19,199,999	0	
大平・熱海・岸賞基金	14,925,754	14,925,754	0	
記念事業等積立資産	4,600,000	4,600,000	0	
最上検診センター建替積立資金	400,634,422	179,567,000	221,067,422	最上C建替え費用の積立(剰余金処分)
土地・減価償却資産整備準備資産	1,924,199,206	1,939,240,500	△ 15,041,294	最上C隣接地及び器具備品等整備の為の取崩し
退職給付引当資産	1,344,635,127	1,517,091,707	△ 172,456,580	退職金(11名)支払いの為の取崩し
特定資産合計	4,325,307,006	4,328,465,048	△ 3,158,042	
(3 その他固定資産)				
土地	275,042,877	273,984,000	1,058,877	最上C隣接地取得
建物	804,591,249	802,612,177	1,979,072	米沢C腹部超音波検査室改修等
建物減価償却累計額	△ 401,024,984	△ 372,046,251	△ 28,978,733	
構築物	195,496,830	195,322,690	174,140	南陽C敷地内看板設置
構築物減価償却累計額	△ 180,589,968	△ 178,637,976	△ 1,951,992	
車両運搬具	640,840,000	608,340,000	32,500,000	胃呼吸器併用車1台整備(胃部1台廃車との差額)
車両運搬具減価償却累計額	△ 532,763,319	△ 528,306,652	△ 4,456,667	
器具備品	1,230,094,525	1,317,959,725	△ 87,865,200	
器具備品減価償却累計額	△ 856,798,552	△ 1,048,748,390	191,949,838	胃・呼吸器・マンモファイリングシステム整備
電話加入権	2,357,965	2,357,965	0	
預託金	189,280	178,387	10,893	胃呼吸器併用車整備に伴うリサイクル料
ソフトウェア	210,614,655	247,743,350	△ 37,128,695	基幹システムの減価償却額
繰延資産	1,246,866	1,870,297	△ 623,431	庄内C下水道工事受益者負担分の減価償却額
出資金	10,000	10,000	0	
その他固定資産合計	1,389,307,424	1,322,639,322	66,668,102	
固定資産合計	6,684,540,231	6,621,030,171	63,510,060	
資産合計	7,868,164,387	8,190,697,794	△ 322,533,407	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	348,229,583	533,618,458	△ 185,388,875	退職金(11名)、DRファイリングシステム他
未払消費税	20,735,600	0	20,735,600	前年度消費税額還付が発生したための増
預り金	8,562,066	4,142,967	4,419,099	住民税の支払いを次年度に繰り越したことによる増
賞与引当金	89,952,708	91,310,375	△ 1,357,667	定年退職者の発生に伴う賞与引当額の減
流動負債合計	467,479,957	629,071,800	△ 161,591,843	
2. 固定負債				
退職給付引当金	1,611,046,457	1,665,427,597	△ 54,381,140	定年退職者の発生に伴う退職給付引当額の減
固定負債合計	1,611,046,457	1,665,427,597	△ 54,381,140	
負債合計	2,078,526,414	2,294,499,397	△ 215,972,983	
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体補助金	159,295,738	169,998,897	△ 10,703,159	
民間補助金	69,851,211	74,329,396	△ 4,478,185	
寄付金	25,990,744	26,342,178	△ 351,434	
指定正味財産合計	255,137,693	270,670,471	△ 15,532,778	指定正味財産の当期解除分
(うち基本財産への充当額)	(9,094,916)	(9,094,916)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(246,042,777)	(261,575,555)	(△ 15,532,778)	
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	(960,830,885)	(960,830,885)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(2,734,629,102)	(2,549,797,786)	(184,831,316)	
正味財産合計	5,789,637,973	5,896,198,397	△ 106,560,424	
負債及び正味財産合計	7,868,164,387	8,190,697,794	△ 322,533,407	

※ 前年度の無形固定資産(ソフトウェア)及び繰延資産は間接法から直接法へ表示変更

正味財産増減計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	4,323,229	4,323,229	0	
基本財産受取利息	4,323,229	4,323,229	0	
② 特定資産運用益	2,896,259	5,488,858	△2,592,599	
特定資産受取利息	2,896,259	5,488,858	△2,592,599	前年度、3年定期満了に伴う受取利息収益増
③ 事業収益	3,124,643,526	3,191,356,954	△66,713,428	
検診事業収益	3,074,454,466	3,130,463,341	△56,008,875	主に、検診事業収益を過大に見積もり予算計上したほか、住民・職域ともに受診希望者の減少及び受診勧奨の取組み不足を要因に「特定健康診査」「人間ドック」「一般検診」のセット健診が大きく減少したため減益となった。また、がん検診については、セット健診の減少に伴い全体的に減益となり、特に、胃がん検診の受診希望者の減少が著しく、収益は前年度を大きく下回る結果となった。
受託料収益	50,189,060	60,893,613	△10,704,553	検診実績減に伴う結果送付事務手数料の減
④ 受取補助金等	15,669,388	16,354,162	△684,774	
受取地方公共団体補助金	175,000	204,000	△29,000	休日検診支援事業に係わる山形県からの補助金の減
受取その他補助金	0	76,065	△76,065	前年度、研修医受入れに伴う補助金増
受取民間助成金	313,044	307,632	5,412	シール募金交付金、日がん征圧月間に対する助成金
指定からの受取補助金等振替額	15,181,344	15,766,465	△585,121	指定正味財産の「指定解除」による振替額
⑤ 受取寄付金	2,481,534	351,434	2,130,100	
募金収益	2,130,100	3,138,962	△1,008,862	米沢市衛生組合連合会の募金協力取りやめの為の減
指定からの受取寄付金振替額	351,434	351,434	0	指定正味財産の「指定解除」による振替額
⑥ 雑収益	1,314,030	4,328,556	△3,014,526	
受取利息配当金	830	7,226	△6,396	1ヶ月定期預金、普通預金利息の減（金利低下）
雑収益	1,313,200	4,306,450	△2,993,250	前年度、検査システムの解決金の入金に伴う収益増
保険金収益	0	14,880	△14,880	
経常収益計	3,151,327,966	3,225,342,155	△74,014,189	
(2) 経常費用				
① 事業費	3,204,418,728	2,970,369,456	234,049,272	
役員報酬	4,553,645	4,363,000	190,645	役員報酬規程改定に伴う増
職員給与	1,386,415,682	1,345,756,455	40,659,227	基幹システム導入や欠員のカバーの為に生じた時間外手当増
賞与引当金繰入額	88,769,117	90,336,209	△1,567,092	定年退職者発生に伴う引当金の減
医師報酬	102,724,623	105,692,782	△2,968,159	機構医師の従事回数増に伴う地元医師雇用回数減による減
賃金	101,825,780	94,850,528	6,975,252	正規職員の育児休業及び嘱託職員未補充への対応による増
法定福利費	239,810,983	226,269,232	13,541,751	職員給与増に伴う社会保険料の増
福利厚生費	11,366,327	9,282,841	2,083,486	親睦会行事への補助の増額
退職給付費用	116,565,646	52,409,940	64,155,706	昇給・昇任に伴う増及び勤続25年経過者16名の支給率UP
検診材料費	135,160,837	136,181,711	△1,020,874	検診実績減に伴う減
会議費	3,555,636	5,261,772	△1,706,136	コロナウイルス感染症の影響に伴う会議の中止等による減
旅費交通費	1,811,133	2,235,664	△424,531	コロナウイルス感染症の影響に伴う出張取りやめによる減
通信運搬費	48,963,228	41,976,118	6,987,110	迅速な結果通知の為に結果送付回数増に伴う増
消耗備品費	2,829,556	1,935,720	893,836	新検査項目導入に伴う備品整備による増
消耗品費	26,012,646	21,785,062	4,227,584	検診現場の受診表、心電図台紙等の印刷トナー代の増
保守料	24,207,941	16,160,494	8,047,447	新基幹システム導入に伴う保守料の増
修繕費	32,214,156	50,462,029	△18,247,873	大規模修繕が発生しなかったことによる減
車両費	3,853,775	5,047,533	△1,193,758	車検整備、タイヤ購入台数の減による減
工事費	609,337	1,420,981	△811,644	施設改修等の工事が発生しなかったことによる減
新聞図書費	1,901,065	1,802,488	98,577	専門図書の購入数の増
印刷製本費	23,236,780	32,563,682	△9,326,902	検診結果処理の外部委託による印刷物作成減に伴う減
燃料費	15,696,151	15,985,373	△289,222	燃料の単価変動に伴う減
水道光熱費	30,326,203	30,861,949	△535,746	電気使用量の減に伴う減
賃借料	23,621,670	17,339,049	6,282,621	公用車継続車両リース単価UP及び高速道路使用回数増による増
保険料	2,775,580	3,158,476	△382,896	普通傷害保険 安価な保険への切換えに伴う減
謝金	367,259	369,534	△2,275	
租税公課	12,235,760	12,999,132	△763,372	検診車の車検整備対象車両の減に伴う重量税の減
負担金	1,333,896	2,202,736	△868,840	結核全国大会、全国よるこびの会等への負担金減に伴う減
普及宣伝費	3,375,098	4,163,444	△788,346	各種イベントバナー単価減、宣伝内容見直しに伴う減
委託費	448,516,431	372,084,351	76,432,080	結果処理業務外部委託及びマンモ読影料単価UPによる増
補助金	5,500,000	5,500,000	0	
研修費	3,219,261	2,913,041	306,220	全国大会遠隔地開催による増(コロナによる研修会中止に伴う費用抑制)
活動助成費	1,566,470	2,413,878	△847,408	まめの会解散に伴う活動助成金の減
交際費	1,300,639	1,695,515	△394,876	お歳暮、慶弔費の減による減
食糧費	11,997,312	11,478,032	519,280	胃がん検診受診者への水配布対象者の拡大による増
被服費	21,217,385	19,782,668	1,434,717	職員用白衣のクリーニング回数の増（自宅洗濯禁止による）

科 目	当年度	前年度	増 減	摘 要
支 払 手 数 料	2,212,562	1,819,371	393,191	振込手数料単価UP及びクレジット清算手数料の増
治 療 費	178,610	290,901	△112,291	採血事故、誤嚥事故に対する治療費の減
雑 費	259,763	319,159	△59,396	突発的な事案の減少に伴う減
減 価 償 却 費	262,330,785	219,198,606	43,132,179	有形・無形固定資産整備に伴う減価償却額の増
② 管理費	38,242,672	33,903,686	4,338,986	
役 員 報 酬	3,667,361	4,043,333	△375,972	
職 員 給 与	19,321,958	16,135,378	3,186,580	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,183,591	974,166	209,425	
賃 金	114,441	126,552	△12,111	
法 定 福 利 費	3,746,720	2,632,918	1,113,802	
福 利 厚 生 費	65,508	50,018	15,490	
退 職 給 付 費 用	1,514,494	394,031	1,120,463	
会 議 費	523,173	507,971	15,202	
旅 費 交 通 費	91,128	76,415	14,713	
通 信 運 搬 費	325,759	291,594	34,165	
消 耗 備 品 費	4,026	0	4,026	
消 耗 品 費 料	43,805	45,936	△2,131	
保 守 料	141,120	301,216	△160,096	
新 聞 図 書 費	140,714	134,992	5,722	
印 刷 製 本 費	471,730	610,440	△138,710	
水 道 光 熱 費	2,258,139	2,256,372	1,767	
賃 借 料	25,577	51,770	△26,193	
保 険 料	148,578	157,443	△8,865	
租 税 公 課	203,096	211,135	△8,039	
委 託 費	511,658	520,573	△8,915	
研 修 費	0	45,391	△45,391	
交 際 費	8,341	10,533	△2,192	
食 糧 費	4,800	0	4,800	
支 払 手 数 料	189,406	232,596	△43,190	
減 価 償 却 費	3,537,549	4,092,913	△555,364	
経 常 費 用 計	3,242,661,400	3,004,273,142	238,388,258	
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△91,333,434	221,069,013	△312,402,447	
評 価 損 益 等 計	0	0	0	
当 期 経 常 増 減 額	△91,333,434	221,069,013	△312,402,447	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産売却益	334,108	309,694	24,414	
車 両 運 搬 具 売 却 益	334,108	309,694	24,414	胃がん検診車1台、呼吸器検診車1台の廃車に伴う売却益
経常外収益計	334,108	309,694	24,414	
(2) 経常外費用				
① 固定資産売却損	17,034	25,445	△8,411	
器 具 備 品 除 却 損	17,034	25,445	△8,411	器具備品の更新整備に伴う除却損
② その他経常外費用	11,286	0	11,286	
貸 倒 費 用	11,286	0	11,286	事業所（1件）の倒産に伴う貸倒れ
経常外費用計	28,320	25,445	2,875	
当 期 経 常 外 増 減 額	305,788	284,249	21,539	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△91,027,646	221,353,262	△312,380,908	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	5,625,527,926	5,404,174,664	221,353,262	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	5,534,500,280	5,625,527,926	△91,027,646	
II 指定正味財産増減の部				
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△15,532,778	△16,117,899	585,121	
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△15,532,778	△16,117,899	585,121	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△15,532,778	△16,117,899	585,121	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	270,670,471	286,788,370	△16,117,899	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	255,137,693	270,670,471	△15,532,778	
III 正味財産期末残高	5,789,637,973	5,896,198,397	△106,560,424	

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	4,323,229	0		4,323,229
基本財産受取利息	4,323,229	0		4,323,229
② 特定資産運用益	2,896,259	0		2,896,259
特定資産受取利息	2,896,259	0		2,896,259
③ 事業収益	3,086,713,985	37,929,541		3,124,643,526
検診事業収益	3,036,524,925	37,929,541		3,074,454,466
受託料収益	50,189,060	0		50,189,060
④ 受取補助金等	15,365,768	303,620		15,669,388
受取地方公共団体補助金	175,000	0		175,000
受取民間助成金	313,044	0		313,044
指定からの受取補助金等振替額	14,877,724	303,620		15,181,344
⑤ 受取寄付金	2,474,506	7,028		2,481,534
募金収益	2,130,100	0		2,130,100
指定からの受取寄付金振替額	344,406	7,028		351,434
⑥ 雑収益	1,311,547	2,483		1,314,030
受取利息配当金	830	0		830
雑収益	1,310,717	2,483		1,313,200
経常収益計	3,113,085,294	38,242,672	0	3,151,327,966
(2) 経常費用				
① 事業費	3,204,418,728	0		3,204,418,728
役員報酬	4,553,645	0		4,553,645
職員給与	1,386,415,682	0		1,386,415,682
賞与	88,769,117	0		88,769,117
医師報酬	102,724,623	0		102,724,623
賃借料	101,825,780	0		101,825,780
法定福利費	239,810,983	0		239,810,983
退職給付費用	116,565,646	0		116,565,646
検診材料費	135,160,837	0		135,160,837
会議費	3,555,636	0		3,555,636
旅費	1,811,133	0		1,811,133
通運費	48,963,228	0		48,963,228
消耗品費	2,829,556	0		2,829,556
消耗品費	26,012,646	0		26,012,646
保守料	24,207,941	0		24,207,941
修繕費	32,214,156	0		32,214,156
車両費	3,853,775	0		3,853,775
工事費	609,337	0		609,337
印刷費	1,901,065	0		1,901,065
燃費	23,236,780	0		23,236,780
水道料	15,696,151	0		15,696,151
賃借料	30,326,203	0		30,326,203
保険料	23,621,670	0		23,621,670
謝礼金	2,775,580	0		2,775,580
租税公課	367,259	0		367,259
負担金	12,235,760	0		12,235,760
普及伝費	1,333,896	0		1,333,896
委託費	3,375,098	0		3,375,098
補助金	448,516,431	0		448,516,431
研修費	5,500,000	0		5,500,000
活動費	3,219,261	0		3,219,261
交際費	1,566,470	0		1,566,470
食糧費	1,300,639	0		1,300,639
被服費	11,997,312	0		11,997,312
支払手数料	21,217,385	0		21,217,385
治療費	2,212,562	0		2,212,562
雑費	178,610	0		178,610
減価償却費	259,763	0		259,763
減価償却費	262,330,785	0		262,330,785

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
② 管理費	0	38,242,672		38,242,672
役員報酬	0	3,667,361		3,667,361
賞与引当金繰入	0	19,321,958		19,321,958
賃借料	0	1,183,591		1,183,591
法定福利費	0	114,441		114,441
退職給付費用	0	3,746,720		3,746,720
会議費	0	65,508		65,508
旅費交通費	0	1,514,494		1,514,494
通信運搬費	0	523,173		523,173
消耗品費	0	91,128		91,128
新品費	0	325,759		325,759
印刷費	0	4,026		4,026
水道光熱費	0	43,805		43,805
賃借料	0	141,120		141,120
租税公課	0	140,714		140,714
委託費	0	471,730		471,730
交食費	0	2,258,139		2,258,139
減価償却費	0	25,577		25,577
経常費用計	0	148,578		148,578
評価損益等調整前当期経常増減額	0	203,096		203,096
評価損益等	0	511,658		511,658
当期経常増減額	0	8,341		8,341
	0	4,800		4,800
	0	189,406		189,406
	0	3,537,549		3,537,549
経常費用計	3,204,418,728	38,242,672	0	3,242,661,400
評価損益等調整前当期経常増減額	△91,333,434	0	0	△91,333,434
評価損益等	0	0	0	0
当期経常増減額	△91,333,434	0	0	△91,333,434
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産売却益	334,108	0		334,108
車両運搬具売却益	334,108	0		334,108
経常外収益計	334,108	0	0	334,108
(2) 経常外費用	0	0		0
① 固定資産売却損	17,034	0		17,034
器具備品除却損	17,034	0		17,034
② その他計上外費用	11,286	0		11,286
貸倒費用	11,286	0		11,286
経常外費用計	28,320	0	0	28,320
当期経常外増減額	305,788	0	0	305,788
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△91,027,646	0	0	△91,027,646
当期一般正味財産増減額	△91,027,646	0	0	△91,027,646
一般正味財産期首残高	5,565,774,589	59,753,337	0	5,625,527,926
一般正味財産期末残高	5,474,746,943	59,753,337	0	5,534,500,280
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△15,222,130	△310,648		△15,532,778
一般正味財産への振替額	△15,222,130	△310,648		△15,532,778
当期指定正味財産増減額	△15,222,130	△310,648	0	△15,532,778
指定正味財産期首残高	265,732,436	4,938,035	0	270,670,471
指定正味財産期末残高	250,510,306	4,627,387	0	255,137,693
III 正味財産期末残高	5,725,257,249	64,380,724	0	5,789,637,973

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法について
 利付国債・公債
 総平均法による原価法を採用している。
 なお、満期保有を目的とする一部債券については、総平均法による償却原価法を採用している。
- (3) 棚卸資産の評価方法について
 貯蔵品(検診材料)
 最終仕入原価法を採用している。
- (4) 固定資産の減価償却について
 有形固定資産(建物・構築物・車両運搬具・器具備品)
 間接法により旧定額法及び定額法で減価償却を実施している。
 無形固定資産(ソフトウェア)
 直接法により定額法で減価償却を実施している。
- (5) 繰延資産の処理方法について
 均等償却を実施している。
- (6) 引当金の計上基準について
 ○退職給付引当金
 機構退職金支給規程に基づき計算された退職給付債務額(一時金は期末自己都合要支給額の100%相当額)を計上している。
 ○賞与引当金
 職員に対する賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (7) 消費税の会計処理について
 消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。
- (8) リース取引の処理方法について
 ○リース物件の所有権が借主に移転しないファイナンス・リース取引(300万円以上)については、売買処理に準じた会計処理に拠っている。
 有形固定資産(器具備品)
 無形固定資産(ソフトウェア) リース期間定額法で減価償却を実施している。
 ○リース物件の所有権が借主に移転しないファイナンス・リース取引(300万円未満)については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理に拠っている。

未経過リース料(公用車49台) (単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料	13,698,900	21,560,300	35,259,200

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	571,031,837	0	0	571,031,837
有価証券	398,600,000	0	0	398,600,000
定期預金	293,964	0	0	293,964
小計	969,925,801	0	0	969,925,801
特定資産				
建物	673,040,084	0	36,727,589	636,312,495
車両運搬具	2	0	1	1
器具備品	1	0	0	1
大平・熱海・岸賞基金	14,925,754	0	0	14,925,754
記念事業等積立資産	4,600,000	0	0	4,600,000
最上検診センター建替積立資産	179,567,000	221,067,422	0	400,634,422
土地・減価償却資産整備準備資産	1,939,240,500	0	15,041,294	1,924,199,206
退職給付引当資産	1,517,091,707	4,700	172,461,280	1,344,635,127
小計	4,328,465,048	221,072,122	224,230,164	4,325,307,006
合計	5,298,390,849	221,072,122	224,230,164	5,295,232,807

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	571,031,837	(0)	(571,031,837)	(0)
有価証券	398,600,000	(9,094,916)	(389,505,084)	(0)
定期預金	293,964	(0)	(293,964)	(0)
小 計	969,925,801	(9,094,916)	(960,830,885)	(0)
特定資産				
建物	636,312,495	(231,369,021)	(404,943,474)	(0)
車両運搬具	1	(0)	(1)	(0)
器具備品	1	(0)	(1)	(0)
大平・熱海・岸賞基金	14,925,754	(14,673,756)	(251,998)	(0)
記念事業等積立資産	4,600,000	(0)	(4,600,000)	(0)
最上検診センター建替積立資金	400,634,422	(0)	(400,634,422)	(0)
土地・減価償却資産整備準備資産	1,924,199,206	(0)	(1,924,199,206)	(0)
退職給付引当資産	1,344,635,127	(0)	(0)	(1,344,635,127)
小 計	4,325,307,006	(246,042,777)	(2,734,629,102)	(1,344,635,127)
合 計	5,295,232,807	(255,137,693)	(3,695,459,987)	(1,344,635,127)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	272,655,900	62,041,245	210,614,655
合 計	272,655,900	62,041,245	210,614,655

間接法により減価償却を行っている固定資産については、記載を省略している。

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
利付国債 日興	168,600,000	170,252,280	1,652,280
利付国債 山銀	230,000,000	233,841,000	3,841,000
公社債投信 日興(岸賞基金)	10,000,000	9,997,000	△3,000
公社債投信 日興(大平熱海賞基金)	2,426,000	2,425,273	△727
利付国債 日興	99,985,900	102,690,000	2,704,100
地方公共団体金融機構債券 日興	100,000,000	100,120,000	120,000
名古屋市公募公債 大和	100,000,000	99,300,000	△700,000
合 計	711,011,900	718,625,553	7,613,653

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
子宮頸がん及び乳がんにかかる休日検診実施体制整備支援事業補助金	山形県	0	175,000	175,000	0	—
建物	山形県	50,637,746	0	3,438,828	47,198,918	指定正味財産
	市町村	119,361,151	0	7,264,331	112,096,820	指定正味財産
	日自振	74,329,396	0	4,478,185	69,851,211	指定正味財産
合 計		244,328,293	175,000	15,356,344	229,146,949	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	15,532,778
合 計	15,532,778

なお、財務諸表のうち該当事項がないものについては、記載を省略している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	91,310,375	89,952,708	91,310,375	0	89,952,708
退職給付引当金	1,665,427,597	118,080,140	172,461,280	0	1,611,046,457

令和2年5月28日

公益財団法人やまがた健康推進機構
理事長 中目 千之 殿


公益財団法人やまがた健康推進機構

監事

粕谷真生 

公益財団法人やまがた健康推進機構

監事

奥山 亨 

監査報告書

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からのその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

(イ) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(ロ) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上